

令和3年度 第1回大阪府立狭山池博物館運営審議会 議事要旨

日時： 令和3年12月16日（木）9:30～11:20
場所： 大阪府立狭山池博物館
出席者： 委員） 磐下委員・岡田委員（Web参加）・佐伯委員（Web参加）・
中川委員（Web参加）・向山委員〔会長〕・森委員・泰田委員
計7名（欠席者：金田委員）

【結果】

成果指標の設定と今後の運営展開について

- ・狭山池博物館の取組みを評価する成果指標の目標値について、一部修正のうえおおむね了承
- ・今後の運営展開については、成果指標の目標値による運営マネジメントについて了承
- ・最終答申案について一部修正のうえ、会長が事務局と調整のうえ各委員に確認をとり、答申とする

【概要】

（資料に基づき、事務局より説明）

【主な意見】（○：委員 ●：事務局）

- 3つの柱ごとの取組みで目指している目的を明確にし、アンケート調査で必要としている結果が得られるよう工夫することが好ましい。
- ご指摘のとおり、アンケートの調査項目を工夫する。
- 「成果指標」だけでなく「成果指標の目標値」とすることでより分かりやすくなるのではないか。
- 「目標値」を追記する。
- インターネットを活用した情報発信の強化が必要である。例えばSNSによる「いいね」や「ハッシュタグ」による評価も反映させるなど工夫してはどうか。
- 狭山池博物館ではSNSとして「Twitter」や「Instagram」を設立しており、そのほかHPも作成している。狭山池博物館開館20周年記念キックオフ時には、HPに約3万ものアクセス数を記録している。これらSNS等を活用しながらより多くの方に知っていただけるよう、新たな手法も含めて引き続き検討していく。
- 3つの柱の1つである土木事業に関する成果指標の目標値について、狭山池博物館は日本でも唯一の土木施設であるため、新たなチャレンジという視点から70%ではなく80%を目標値としてはどうか。
- 満足度が80%を超えている結果もあることから、目標値を80%に設定する。
- 来館者へのアンケート調査において、アンケートに回答した来館者の4割は車で来ているということであるが、駐車場のニーズはどのように考えているのか。
- 現在は、団体及び身障者、関係者のみの利用となっているが、アンケートの結果をみてもニーズは高く、大阪狭山市と連携を図りながら検討を進めていきたい。
- リモートでの案内も試みているが、実際に足を運んでほしいとも思っているが、ボランティアガイドの人数が減ってきているので、ボランティアガイドを育成できる環境や体制を整えてほしい。
- 来館者のアンケート結果を見ると地元における認知は高いものの、そのほかの地域の認知度が低くなっていることから、ターゲットを絞った広報活動を行うことが有効である。

以上